

佐倉事業所 SWR® 新工場が稼働開始

千葉県佐倉事業所内で建設を進めていた当社のSWR® 新工場が竣工し、このたび稼働が開始され、2月17日に開所式を執り行いました。

新工場では、当社独自の細径高密度型光ファイバケーブル(Wrapping Tube Cable®: 以下WTC®)内に実装される間欠固定型光ファイバリボン(Spider Web Ribbon®: 以下SWR®)を生産します。

今回の稼働開始により、SWR® の生産量は光ファイバ長ベースで約30%増加する見込みです。

近年、生成AIの進展に伴うデータトラフィックが急速に増加

し、大容量高速通信、低遅延通信に対する要求がますます高まっています。各国では光ブロードバンドやデータセンタの整備が増加し、今後も継続した需要が見込まれます。

SWR® 新工場では、自社開発の製造装置やものづくりDX(デジタルトランスフォーメーション)の活用により、需要増に対応する生産能力の強化だけでなく、高い品質と生産性を追求しています。また、GX(グリーントランスフォーメーション)技術を積極的に導入し、当社初のカーボンニュートラルを目指します。

新工場の稼働を通じて、高度情報化社会の実現に向け、今後も貢献していきます。

*Spider Web Ribbon®, SWR®, Wrapping Tube Cable®, WTC®は当社の登録商標です。



稼働を開始した佐倉事業所内の新工場



開所式でのテープカットの様子

■ 新工場の概要

所在地	佐倉事業所（千葉県佐倉市六崎 1440）所内
建屋面積	約 3000 m ²
投資額	約 100 億円

SWR®/WTC® 製品紹介サイト

<https://www.optic-product.fujikura.com/optical-fiber-cables/jp/>



■ SDGs 17目標に該当するポイント

当社独自の技術を生かしたSWR®の生産を通じて、高度情報化社会の実現に貢献します。



「TitaniaBend PANDA PM Fiber」のサンプル出荷開始

当社は、800Gbit/秒以上の情報伝送が可能な次世代光トランシーバに対応した「TitaniaBend PANDA PM Fiber」を米国コーニング社と共同開発し、2025年度から当製品のサンプル出荷を開始します。

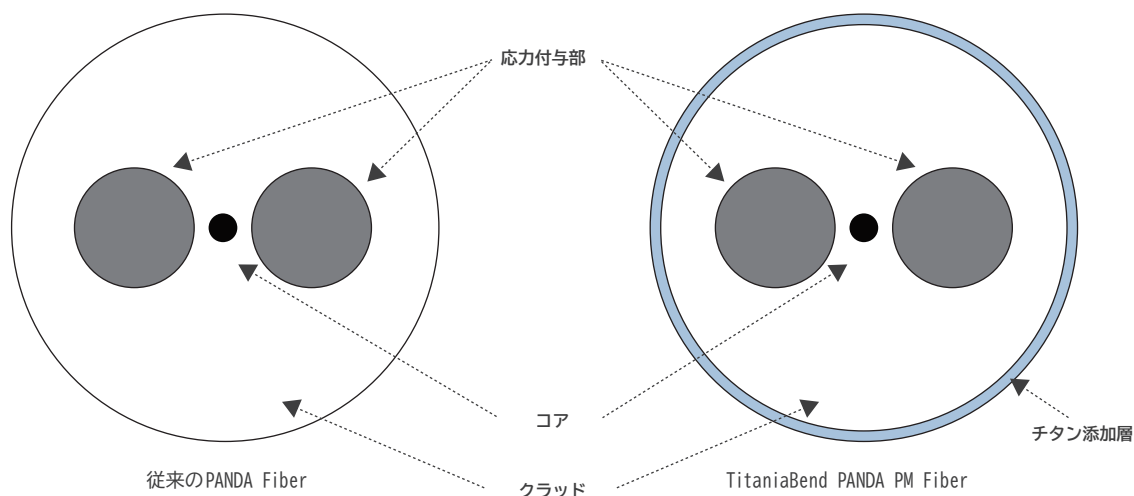
AIアプリケーションが急速に増加する中、より高速かつ大容量の光通信が必要になっています。高速大容量通信に必要な光通信ネットワークにおいては、電気信号と光信号を変換する光トランシーバが使用されます。通信トラフィックの増加に対応するため、近年、光トランシーバの集積化と小型化が進められてきました。光トランシーバに使用される偏波保持光ファイバ(PANDA Fiber)は、限られたスペースに収納する必要があり、より小さな許容曲げ半径が求められています。

「TitaniaBend PANDA PM Fiber」は、短い長さでもシングルモード動作を実現する光ファイバ設計を採用、加えて、光ファイバのガラス表面にチタン添加層を設けることで、小径曲げ環境下での光学的特性と機械的信頼性を両立しました。曲げ半径5mm以下の厳しい曲げ条件にも対応でき、きつい曲げが加わった際の曲げ損失を従来製品比で最大約9割低減します。

当社はコーニング社と共同で、次世代の光トランシーバに最適なソリューションとして、2025年1月25日～30日に米国サンフランシスコで開催された「SPIE Photonics West 2025」で「TitaniaBend PANDA PM Fiber」を発表しました。

当社は高度情報化社会の実現に向け、今後も高品質な製品開発に取り組んでいきます。

■ 図 PANDA ファイバの断面構造



■SDGs 17目標に該当するポイント

この製品は次世代の光トランシーバで使用されます。
革新的な技術で、未来の光通信の発展に貢献します。



✉ 光ファイバ事業部 : opticalfiber@jp.fujikura.com

Data Center Japan 2025 出展のご案内

当社は、2025年3月18日および19日に東京都立産業貿易センター浜松町館4階、5階で開催される「Data Center Japan 2025」に出展します。本イベントは、日本データセンター協会(JDCC)が設立15周年を記念して主催するもので、データセンタ業界に関連する最新技術、製品、サービスを一堂に紹介する場です。急速に成長を遂げるデータセンタ市場をはじめ、クラウドサービスやAIなど、デジタルインフラストラクチャの進化に対応するため、多くの注目を集めるイベントとなっています。

当社のブースでは、次世代超小型MMC/MDC光配線ソリューション、DCI(データセンタインターコネクト)向け光ファイバケーブル(SWR®/WTC®)、One-Click® Cleaner PRO、光ファイバ融着接続機など、データセンタ向け光関連製品を展示します。また、「最新のDC向け光ファイバケーブルの技術動向」をテーマにしたセミナーにも登壇し、当社の技術力と最新情報をご紹介します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

*SWR®、WTC®およびOne-Click®は当社の登録商標です。



展示会

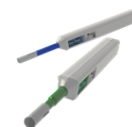
日 時：2025年3月18日(火)19日(水) 10:00～17:00
場 所：東京都立産業貿易センター浜松町館 フジクラブース :4A24(4階)
内 容：データセンタ向け光関連製品
公式サイト：<https://f2ff.jp/event/dcjapan>



MMC コネクタ

セミナー

日 時：2025年3月19日(水) 14:20～14:50
場 所：東京都立産業貿易センター浜松町館 RoomA (4F)
講 演 者：光ケーブル営業部 グループ長 富川 浩二
題 目：最新のDC向け光ファイバケーブルの技術動向
内 容：近年AIの性能が飛躍的に向上したことで生成AIの需要が大幅に拡大しており、これに伴い、データセンタ間の接続に使用される光ファイバケーブルの多心化、低損失化の要望が高まっています。
本講演では、光ファイバの基礎・光ファイバケーブル変遷の歴史、および近年データセンタ間の接続に使用されている最新の光ファイバケーブルについてご紹介します。



One-Click® Cleaner PRO

セミナー詳細：https://f2ff.jp/introduction/10297?event_id=dcjapan



■SDGs 17目標に該当するポイント

当社の次世代超小型光コネクタ技術および光ケーブルリングソリューションを通じて次世代光ファイバネットワーク構築を支援し、世界中の産業や生活の基盤となる社会インフラの発展に貢献します。



「立体配線成形技術の開発」エレクトロニクス実装学会 講演大会優秀賞を受賞

当社は、一般社団法人エレクトロニクス実装学会が主催する第38回エレクトロニクス春季講演大会において、優秀賞を受賞しました。本賞は、同大会での学術・技術的に優れた講演発表および発表論文に対して授賞されるものです。

今回の受賞では、真空・圧空成形法および転写印刷法の適用により、ABSやポリカーボネートなどの熱可塑性樹脂上に外部端子との接続用テール配線を有する立体かつ多層の回路形成を可能にしたことが評価されました。

成形加工温度での伸長性の高い銀ペーストを開発し、接着層の構造、保護レジストの改善により、立体の曲面において深さ10mmまで追従可能な立体配線を開発しました。

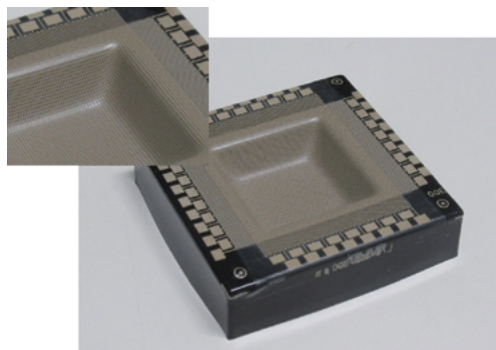
従来の組み立て作業の時間を短縮できるほか、製品のデザイン性の向上、部品点数の削減が可能となり、小型電子機器や車載モジュールのように、三次元形状で動作する製品のさらなる普及に寄与します。

当社は今後も多様化が進む顧客ニーズにこたえる研究開発および製品の提供を続けていきます。



受賞した電子部品事業部 鳥井純一氏

■ 図1 立体配線（基材：ABS）

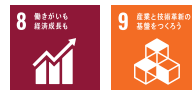


■ 図2 静電容量型立体スイッチ（基材：ポリカーボネート）



■SDGs 17目標に該当するポイント

本技術でお客様の生産性、意匠性の向上に貢献していきます。



✉ 電子部品事業部 : ask-mbsw@jp.fujikura.com